

「食」の現場から、誰もがいきいきと活躍できるジェンダー平等社会の実現へ

フード連合岩手地区協議会は、連合岩手加盟のすべての働く仲間の皆さんと連帯し、地域におけるジェンダー平等とダイバーシティ&インクルージョンの推進に引き続き積極的に取り組んでまいります。



食品関連産業は、雇用形態や性別、年齢などを問わず、多様な仲間によって支えられている、私たちの暮らしに欠かすことのできない産業です。私たちは、「男女が互いを尊重し、役割と責任を分かち合い、誰もがいきいきと活躍できるジェンダー平等社会」の実現をめざします。その実現に向け、フード連合では推進計画「築こう！ food 社会！ to 2030」を掲げ、「f(フェアで)o(お互いに)o(思いやり)d(ダイバーシティ推進社会)」の構築に向けた段階的なアクションを進めています。私たちは、その第一歩となる「2025-2026 重点項目(STEP1)」として、以下の課題に取り組めます。

・組合員実態の把握と男女平等参画の推進

組合員の男女比率などの実態を把握し、現状と課題を明らかにするとともに、意思決定の場への女性参画を積極的に推進します。

・職場におけるあらゆる格差解消と環境整備

男女間賃金格差の是正、各種ハラスメントの根絶、法令の定着・点検、仕事と生活の両立を支援する制度の拡充などを通じて、誰もが安心・安全に働き続けることのできる職場環境の実現を求めています。

職場の意思決定におけるジェンダーギャップや固定的な性別役割分担意識(アンコンシャス・バイアス)の払拭についても、産別を超えた共通の重要な課題として取り組みます。フード連合岩手地区協議会は、連合岩手をはじめとする関係する皆様と連携し、職場から地域社会へと取り組みの輪を広げ、誰もがいきいきと活躍できるジェンダー平等社会の実現に向けて、継続的に行動してまいります。

フード連合 岩手地区協議会

議長 照井 靖裕